

お知らせ

当院は京都大学が実施している『医療の質と活動の実態調査・改善事業（QIP）』に参加しております。

「医療の質と活動の実態調査・改善事業について」

当院では、より質の高い医療・公衆衛生の向上のため、私達が行っている医療の内容を客観的に評価しながら、さらに改善させてゆくことが大事だと考えております。

そこで、当院では研究機関と協力して、お受けになった入院及び外来診療に関するデータを完全に匿名化した状態で収集して客観的に分析し、医療や施設運営の質を一層向上させることを目指しております。

研究参加と既存情報の提供についての公開情報

- ① 試料・情報の利用目的及び利用方法、他の機関への提供方法
匿名化された診療報酬データ（DPC データ）を、医療の質と活動の実態調査を行い公衆衛生の向上に与する目的に、暗号化通信による電子的送付あるいは追跡可能な宅配等により、京都大学へ提供する
- ② 利用し、又は提供する試料・情報の項目
厚生労働省により規定され作成された DPC データ
（年齢・性別、病名、手術・処置・薬剤等の種類、外来受診回数、入院期間、医療費など）
- ③ 利用する者の範囲
「医療の質と経済性に関する実態調査」を実施する研究者
研究責任者：京都大学大学院医学研究科医療経済学分野教授 今中雄一
研究実施体制は研究責任者によるホームページをご参照ください
<http://med-econ.umin.ac.jp/disc/>
- ④ 試料・情報の管理について責任者
板橋中央総合病院 情報担当責任者 赤荻 由佳

※QIP とは Quality Indicator/Improvement Project の略語。
DPC データの分析・比較を通じて医療の質の向上を目指すプロジェクトです。

皆様のご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

ご不明な点につきましては総合受付へお問い合わせください。



医療法人
社団明芳会

板橋中央総合病院

担当：中央病歴管理室